

議員提出議案第21号

核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書

上記の議案を提出します。

令和5年10月20日

中野区議会議長 酒井 たくや 殿

提出者 中野区議会議員 森 たかゆき  
小林 ぜんいち  
ひやま 隆  
久保 りか  
浦野 さとみ  
中村 延子

## 核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書

ウクライナ侵略を続けるロシアのプーチン政権は、「核の威嚇」を公言し、アメリカ、イギリス、フランスも「核抑止力」への依存姿勢を変えていない。また、北朝鮮は弾道ミサイル実験を繰り返し行っており、中国も核弾頭を増加させていることに懸念が高まっている。そのため、核軍縮交渉の前途は予断を許さない状況である。

一方で、反核平和を求める世界の流れは加速しており、9月19日現在、核兵器禁止条約には、93カ国・地域が署名し、69カ国・地域が批准している。また、日本国内においても、日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める地方議会の決議や意見書を採択した議会は、9月22日現在、全国の自治体の37%にあたる666の議会となっている。

本年8月、被爆地である広島市の平和宣言では、「一刻も早く核兵器禁止条約の締約国となり、核兵器廃絶に向けた議論の共通基盤の形成に尽力するために、まずは本年11月に開催される第2回締約国会議にオブザーバー参加していただきたい」と訴えており、長崎市も同様の宣言をしている。

唯一の被爆国として、日本が果たすべき役割は大きいことから、本年11月に開催される核兵器禁止条約締約国会議に日本政府はオブザーバー参加すべきである。

よって、中野区議会は、政府に対し、核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

内閣総理大臣

外務大臣

あて

内閣官房長官

中野区議会議長名